

《愛知県漢方セミナー》

# 『漢方エキス製剤を活用する、 ブレない和洋折衷の実臨床』 ～ド素人から手探りの十六年間ダイジェスト～

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

この度、埼玉県及び宮崎県で臨床に携わっておられます前田修司先生をお招き致しまして、漢方セミナーを開催する運びとなりました。

前田先生は、故木下恒雄先生や寺師睦宗先生に師事し、研鑽を積まれた漢方専門医でありながら、西洋医学と東洋医学のコラボレーションをライフワークとされており、日常診療の中に明日から組み入れて頂ける漢方薬の処方、エネルギーにご提案して頂きます。

ご多忙のこととは存じますが、是非ともこのご機会にご参加賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

## ◇日時

平成28年7月18日(月・祝) 10:30～16:15

## ◇会場

コンベンションルーム AP名古屋、名駅 ルームA

※詳しくは裏面をご覧ください

## ◇内容

・第一部 10:30～12:00

イントロダクション

～気・血・水・陰陽・虚実・表裏寒熱～

・第二部 13:00～14:30

不定愁訴の漢方薬

～加味逍遙散、抑肝散加陳皮半夏を中心に～

・第三部 14:45～16:15

和洋折衷診療のロマン

～明日から使える新薬と漢方のコンビネーションセラピー～

※昼食は、会場にてご準備させていただきます。

対象  
医師

## ◆講師

医療法人蓮誓会レ・ファミリークリニック内科・漢方内科

特定医療法人野尻中央病院内科(非常勤)

### 前田修司先生

(日本東洋医学会認定漢方専門医、日本旅行医学会認定医、日本医師会認定産業医)

「術ありて後に学あり術なくて咲きたる学の花のはかなさ」…これは大塚敬節先生の残された句です。一人でも多くの患者さんに漢方を処方すること、「学」を極めることより患者さんの声を直接聞く診療から「術」を学んでいく、それこそが漢方治療がうまくなるために大切なことです。

ただ、やみくもに処方するわけにもいきません。流派やしきたりにとらわれることなく、実臨床でどのように漢方を西洋医学と上手に和洋折衷していくか、今回はそのコツを、漢方のロマンとともに先生方へお伝えする機会にしたいと意気込んでおります。

前田 修司

## ☆アクセスマップ

### コンベンションルーム『AP名古屋、名駅』8階 ルームA



#### 所在地・電話番号

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25

名駅IMAIビル7F・8階

Tel:052-561-1109 Fax:052-561-2109

#### 交通アクセス

【JR東海道線をご利用の場合】

「名古屋駅」より徒歩約5分

【名鉄・近鉄をご利用の場合】

「名古屋駅」下車徒歩約2分

#### 【ご参加申込書】

『漢方エキス製剤を活用する、ブレない和洋折衷の実臨床』

～ド素人から手探りの十六年間ダイジェスト～

に 出席 します。

※ご出席の場合は、担当者へ直接お伝え頂くか、

FAX(052-201-1056)でご送付ください。

ご所属【

】 ご芳名【

】

クラシエ薬品(株)は先生方の個人情報を重要なものと認識し、プライバシーポリシー、個人情報保護規定等を定め、個人情報保護に努めております。ご記入頂いた個人情報は、出席人数把握のため及び後日関係情報・資料を提供させて頂く以外に使用致しません。